

高学年「よむ YOMU ワークシート」について

- ・読解力向上を目的とした教材です。新聞記事をもとにした教材を定期的に取り組むことで、読解力向上を目指します。また、新たな知識や社会の様子について知ることができます。
- ・取り組んだワークシートは、正誤に関わらず解説をし、見直しを行います。
- ・「よむ YOMU ワークシート」では、点数による評価は行っていません。「よむ YOMU ワークシート」の取り組みが、子どもたちの読解力にどのような成果をもたらしたのかを、チャレンジテストや学力調査等で把握し、指導方法の改善に生かしていきます。

★ よむ YOMU ワークシート no.1 110番 知ってるつもり!? サイン

年 組 () 番 名前 記入日 月 日



警察には、年間約800万件を超える緊急通報が寄せられる。国民の15人に1人が電話した計算だ。意外と知らない仕組みを紹介する。

「事件ですか。事故ですか」。110番すると、各地の警察本部の通信指令室につながり、担当者から聞かれる。通報を受けてから警察官が到着するまでの時間は、2020年の全国平均で7分57秒だった。

「顔が見えないので、声なき声も聞くように注意している」。通信指令室の担当者は強調す



110番 知ってるつもり!?

110番は「通話」に限らない。聴覚に障害のある人などのために、スマホのアプリを使う通報が可能になった。スマホから送信も始まり、車のナンバー画像から事件の解決につなげたこともある。「匠※の技」と最新技術の両輪で進化を続ける。

身近なニュースを題材としているので、新たな知識を得るきっかけにもなります。

「匠」・・・すぐれた技術を持つ人

1 110番通報をすると、警察のどこにかかりますか。5字で書きましょう。

--	--	--	--	--	--

2 電話で110番通報を受けた担当者の対応について、具体的な例を挙げて説明しているのはどの段落ですか。あてはまる段落の番号を書きましょう。

--

3 次のことがらは、記事のどの部分を読めばわかりますか。記事の部分だけのことにはア、図表「110番通報の流れ」だけのことにはイ、両方のことにはウ、を書きましょう。

- ・110番があった現場に向かう時には、ヘリコプターを使うこともある。 ()
- ・110番の仕組みは、人と技術の両方が活用されている。 ()

ほっかいどうチャレンジテストについて

- ・全児童が発達段階に応じて定期的に前年度問題、学期末問題に取り組み、学習内容の確実な定着を図ります。
- ・チャレンジテストの結果は、北海道平均、オホーツク管内平均と比較することで、子どもたちの実態を把握し、指導方法の改善に生かしていきます。

1 【日本に来た外国人旅行者の数】を見て田中さんが整理した【表】のAに入る言葉を八字以内で書きましょう。

2 木村さんは、田中さんが整理した【表】を見て、次のような【アドバイス】をしました。Bに入る言葉として最もふさわしいものを次のアからエまでのの中から一つ選んで、記号で書きましょう。

木村さんの【アドバイス】

日本に来た外国人旅行者の数が、本当に少ないと言えるかどうか分からないから、Bのグラフも紹介するのと同じと思うよ。

ア 日本に来てよかったと思う外国人旅行者の数

イ いくつかの国の外国人旅行者の数

ウ 月ごとの日本に来た外国人旅行者の数

エ 都道府県ごとの外国人旅行者の数

日本に来た外国人旅行者の数

年	人数(万人)
2010年	861
2011年	622
2012年	836
2013年	1036
2014年	1341
2015年	1974
2016年	2404

(日本政府観光局資料による)

田中さんが整理した【表】

意見	事実
・二〇一六年でも、外国人旅行者の数はまだ、少ないので、もっと努力したほうがよい。	・二〇一六年までの五年間、外国人旅行者の数は、年々増加した。 ・二〇一六年には、外国人旅行者の数が二千万人をこえた。

「事実と考えを区別しよう」より(平成三十一年度 東京書籍)

令和四年度 ほっかいどうチャレンジテスト
一学期末問題(第二回) 国語 小五
組 番 氏名

めあて 事実と考えを区別して書こう。

一 田中さんは、次の【日本に来た外国人旅行者の数】を見て、分かった事実と、自分で考えたことを【表】に整理しました。これらを読んで、あとの問題に答えましょう。

学習スローガン

これをごんぼろう!

* 読書活動の充実を!

自分の好きな**本の世界**をひろげよう。

* 問題文を見直そう!

3回見返そう。答えもね。

* ファイト! よむよむワークシート

よく考えてやろう! ふり返いをしよう!

みんなで
やってみようね♪



子どもたちには、各種テストの分析結果をもとに、「学習スローガン」を提示して、目標を明確にしていきます。